

モーツァルト & ブラームス

2人が
最後に
愛した
クラリネット

五重奏

Chamber Music Produced by Masaki Shirako

出演

クラリネット：白子 正樹

ヴァイオリン：岡部 亜希子

桐原 宗生

ヴィオラ：鈴木 勇人

チェロ：小野木 遼

プログラム

モーツァルト / クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581

ブラームス / クラリネット五重奏曲 口短調 作品 115

Wolfgang Amadeus Mozart / Clarinet Quintet in A Major, K. 581

Johannes Brahms / Clarinet Quintet in B Minor, Op. 115

札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール

(札幌市中央区中島公園 1-15)

全席自由 【Kitara Club 会員料金：一般 2,500 円】

一般：3,000 円 学生：1,000 円 ※大学生以下の方が対象（未就学児を除く）

Kitara Club ゴールド会員先行：12/1（水） Kitara Club 一般会員先行：12/2（木） 一般：12/4（土）

チケット取り扱い：Kitaraチケットセンター（011-520-1234）

お問い合わせ：shirakokikaku@gmail.com

※ このコンサートは *Kitara* がサポートしています。

2022 Mon

3.14

18:30 開場 19:00 開演

2人が
最後に
愛した
クラリネット
五重奏
モーツァルト&ブラームス



クラリネット：白子 正樹

Masaki Shirako

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。音楽学部賞、京都音楽協会賞受賞。卒業後、ロームミュージックファンデーションの奨学金を受け渡独し、ケルン音楽大学を最優秀の成績で卒業。第6回パドヴァ国際音楽コンクール管楽器部門第1位。第4回メルカダnte国際クラリネットコンクール第1位。ケルン・Bechsteinhausにおいてソロリサイタルを開催。平成22年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。これまでに京都市交響楽団、札幌交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、広島交響楽団とソリストとして共演。クラリネットを山川すみ男、三界秀実、高橋知己、Ralph Mannoの各師に師事。室内楽をAnthony Spiriに師事。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団（大阪）クラリネット奏者を経て、現在、札幌交響楽団副首席クラリネット奏者。北海道教育大学、北翔大学各非常勤講師。

ヴァイオリン：岡部 亜希子

Akiko Okabe

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。在学中よりNHK交響楽団アカデミーで研修を積む。2009年1月より、札幌交響楽団のヴァイオリン奏者。第9回コンセール・マロニエ21弦楽部門3位。第7回フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール入賞。第19回和歌山音楽コンクール弦楽部門1位。藝大フィルハーモニア、札幌交響楽団と共演。これまでに、ヴァイオリンを鷺見健彰、鷺見野富子、澤和樹、若林暢、玉井菜採の各氏に師事。室内楽を岡山潔、山崎伸子、松原勝也、北本秀樹、大友肇の各氏に師事。2013年7月、ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ第5番を含む、全9曲を収録したファーストソロアルバム、「Spring」を発売。

ヴァイオリン：桐原 宗生

Souki Kirihara

鹿児島県出身。3歳よりヴァイオリンを始め、桐原女子高等学校音楽科（男女共学）を経て桐朋学園大学音楽学部にて学ぶ。在学中、N響アカデミー、小澤国際室内楽アカデミー、PMF、サントリー室内楽アカデミー、プロジェクトQ等に参加し、アンサンブルの研鑽を積む。2015年9月から2019年3月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の第2ヴァイオリン首席奏者を務める傍ら、全国のオーケストラに首席奏者およびコンサートマスターとして客演。2019年5月より札幌交響楽団の第2ヴァイオリン首席奏者に就任。またピアニスト反田恭平率いるJNO（ジャパン・ナショナル・オーケストラ）の創設メンバーとしても活動し、NOVA recordよりCDをリリース。第63回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。これまでにヴァイオリンを中島三幾、堀正文、久保良治各氏に師事。

ヴィオラ：鈴木 勇人

Hayato Suzuki

4歳からヴァイオリンを始める。洗足学園音楽大学を首席で卒業。その後ヴィオラに転向。同大学院修士課程を修了。洗足学園音楽大学在学中、特別選抜演奏者に認定、前田記念奨学金を授与。室内楽でプロジェクトQ・第8章、第9章に出演。第7回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。日演連演奏会にて札幌交響楽団とコンチェルトを共演。これまでにヴァイオリンを飯田奈々子、西田博、三浦章宏の各氏に師事。ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。室内楽を木越洋、岡田伸夫の各氏に師事。現在、札幌交響楽団ヴィオラ奏者。

チェロ：小野木 遼

Ryo Onoki

北海道出身。東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。PMF2007に参加。2010,2011,学内で選抜され藝大室内楽定期に出演。第10回ビホールチェロコンクールにて特別賞（井上賞）受賞。メルボルン国際アジア・パシフィック室内楽コンクール第2位。サントリーホール室内楽アカデミー1.2期生。2016年にリスト音楽院セミナーにて最優秀受講生に選出され、2017年にブダペスト春の音楽祭にてリサイタルを行う。札幌交響楽団と共演。これまでに、チェロを桜庭茂樹、山崎伸子、河野文昭の各氏に、室内楽を、堤剛、若林顕、クアルテット・エクセルシオの各氏に師事。Cello Ensemble XTCメンバー。現在、札幌交響楽団チェロ奏者。札幌大谷大学、同中高非常勤講師。